



## 平成19年度つづきウォーク&フェスタ

### ウォークラリー取材記

山田地区 安藤 晴雄

まさに小春日和の11月23日に開催されました。今回は取材記者としての参加です。コースは6kmと10kmがあります。もちろんすべてを回るつもりです。参加者とうまく話ができると良いのですが、まあ、なんとかなるでしょう！

一応スタッフですので、テント設営、落ち葉掃きも済ませ、受付をのぞいてみると、長蛇の列です。最終組と一緒にスタートの予定でしたが受付が進まない。あまりにも先頭組との距離が広がるので、私もスタートをすることにしました。今回はチェックポイントが6か所です。

①都筑中央公園へ向かう山の頂上付近で富士山を見つけ。風があったせいかよく見える。気づかずに通りすぎる人に声をかける。「富士山が見えるよ！」喜んで立ち止まり眺める人や、子どもに見せようとしている人がいた。これから先のコースでもビューポイントがあるでしょう。ランク付けでもしてみようか、先がたのしみです。実は私、自転車に乗っています。全コースを歩くのは、日ごろ歩かない私には無理です。

しかしうまいタイミングで話しかけるのは難しいもの



川和富士の頂上



混み合う受付

です。ウォークよりトークのほうが熱心な集団や、一人もくもくと歩く人、親子、おじいちゃん和孫もいました。

沿道にて案内係の青指と話をする。ほとんどの人が第一声で「ラストですか！」と聞く、そんな気持ちわからないでもない。私も聞くだろう。たいくつなのです。じっとしているのがつらいのです。陽が当たりぼかぼかしている場所、木陰で風吹きすさぶ場所、誘導で忙しい場所、いろいろこれもランク付けができそう。

②鴨池公園 子どもが小さいころ来たログハウス、あいかかわらず盛況でした。

③川和富士公園 富士山がきれいに見え、富士をバックに写真撮影会。スूपのふるまいを受ける、沿道案内とちがい、にぎやかです。温かいスूपでほっとします。

④月出松公園 係がちょうどトイレの前から頂上へ場所替えをしており、机を自転車に積み、お手伝いをする。やはり頂上は富士山ビューポイントです。

⑤都筑ふれあいの丘駅へ向かう途中、横断歩道があるのにはおどろく。全線緑道では？なかったのです。都筑ふれあいの丘駅見学、初めて見ました。交通局職員による誘導ありがとうございます。都筑プール、葛ヶ谷公園を通り、6kmコースと別れ10kmコースへ。風の吹きすさぶ木立を抜けると紅葉ポイントがありました。

⑥大原みねみち公園を過ぎ、木々がうっそうとする自然生態園、ひさしぶりにかかしを見ました。10kmコー

スで人通りが少ないのでちょっと不安になりました。

茅ヶ崎小、中、東小を通り、正覚寺脇を抜けゴールへ。

おなががすく、あと少し、10km完走（自転車）。

そのまま6kmコースの残り部分に急ぎ向かう。駅から徒歩5～6分のところで紅葉ポイント発見。みごとな並木に出会いました。急いで葛ヶ谷公園へ。これで全コース完走。おつかれさまでした。

参加総数644名。アンケートを見せてもらうと、スタッフへのねぎらいの言葉いっぱいありました。コースはやはり知らない場所を歩きたい希望が多いです。企画は大変です。

残念ですがスタッフにとって厳しい意見がありました。案内不備で1時間ほど迷ってしまったそうです。

今回広報の取材として参加させていただき、原稿作成は別として、楽しむことができました。スタッフ側の中



都筑ふれあいの丘駅

から人数の許す限り、コースの部分でも良いから回れたらいいな、と思いました。案内不備のチェックもできるのではないのでしょうか。次回の楽しい企画を期待します。

## フェスタに参加して

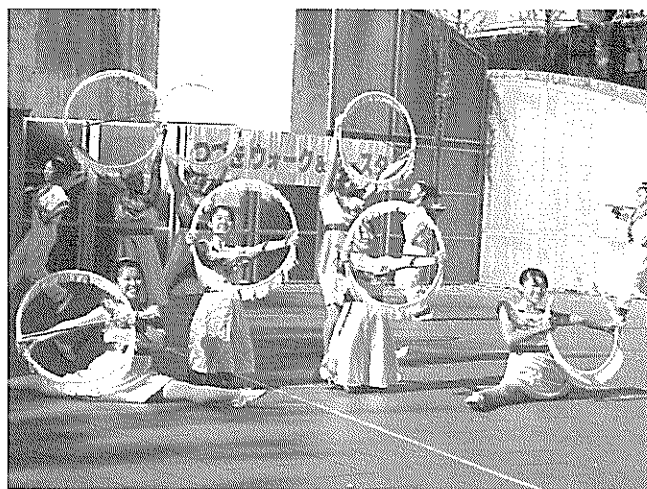
神奈川県立市ヶ尾高等学校バトン部 2年

虫本 仁美

「つづきウォーク&フェスタ」のステージで発表させていただき、ありがとうございました。緊張もありましたが、見ている方々の拍手や声援があり、とても楽しく踊ることができました。

私たちは合計5作品を披露したのですが、中でもディズニーのアラジンイメージしたバトンの演技では、ストーリー性を意識して、アラジンの世界を表現できるように踊りました。この作品は、11月に千葉ポートアリーナで行われた関東大会での演技です。当日は、バトンの演技以外にもダンスやポンポン・吹奏楽などの発表もあり、私たちも楽しんで見ることができました。また、豚汁やわた菓子などの模擬店の販売も、どれも美味しくて温まりました。

観客の皆様の中にはバトントワリングがどのようなものか、あまり知らない方もいたかもしれません。私たちは今回の発表でバトントワリングというものが少しでも多くの人に広まったらいいなと思っています。そして今後は、バトンを実際に体験してもらうなどして、地域の人たちと触れあっていきたいです。



市ヶ尾高等学校バトン部の演技

## それぞれの地区での活動を紹介します

### 子どもチャンピオン大会

中川地区 石坂 好美

第14回中川地区子どもチャンピオン大会を、1月20日(日)9時から都筑小学校校庭と体育館を使って開催しました。

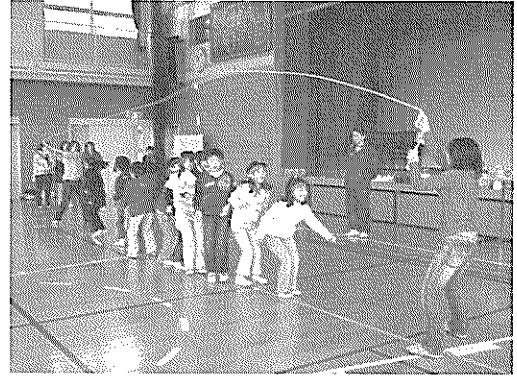
健康作りと友達作りのため、毎年この寒い時期に開催しています。

全員で縄跳びの後、低学年はカルタ取り、ストラックアウト、帽子取りゲーム、高学年はストラックアウト、大縄とび、ドッジボールに挑戦しました。

お父さん達に大縄を回してもらい、お母さん達には昼食のレトルトご飯とカレーを330食も温めてもらいました。

「おもしろかったから、来年も参加するね。」とか、「カ

レーがおいしかった。」とか、子どもたちが楽しい時間を過ごせて良かったです。



大縄とび

### 凧、凧揚げがれ!

東山田地区 本永 富子・藍原 栄子

新しい年が明けて、子どもたちの待ちに待った凧揚げ大会が2月2日(土)に東山田公園で開催されました。

大会一週間前にお父さんやお母さん達と、手作りの凧を悪戦苦闘しながら仕上げ、絵は家で描いて、大会の日に備えることにしました。参加人数は、すみれが丘、山田、東山田地区から合わせて177人、青少年指導員やPTAも合わせると250人ほどになりました。

残念ながら、天候は曇りで風も弱く、凧揚げには程遠いコンディションでしたが、子どもたちはグラウンドを元気よく走り回って頑張っていました。

優秀賞は10人だけしか選ぶことが出来ませんでした、全員にあげたい気持ちでいっぱいになりました。ごみも細かく分別しました。怪我もなく無事に終わり、役員皆ホッとしました。普段ゲームや家の中ばかりで遊んでいる子ど

もたちも、この日ばかりはお父さんやお母さんと、外で思いっきり遊んだり、甘えたり…。そんな姿を見ていると、大変な思いをして準備したことなんか、いつの間にか消えてしまいました。やって良かったぁ…。



表彰式

### 第40回神奈川県青少年指導員大会

都田地区会長 村田 幸夫

去る11月11日(日)、第40回青少年指導員大会が、テーマ「はぐくもう子どもたちの夢 創ろう地域の和(輪)」と題して、大和市生涯学習センターで開催されました。

鮮やかな神奈川大和阿波おどりの後に、県青少年指導員表彰が行われました。

今回、荻田泰永氏による「北極が呼んでいる!～僕を動かす夢の力」と題した記念講演が行われました。彼が目指しているものは、世界で初めて無補給単独で北極海を徒歩横断し、北極点に到達することです。「常に夢を持ちつづける心、大人になると忘れてしまう夢をいつまでも…」という言葉が印象的でした。

私が興味を持ったのは、大和市青指協が取り組んだ、「緑野青空子ども広場ツリーガーデン建設事業」でした。出来上がったツリーガーデンの運営方法がすばらしいと思いま

した。子どもたちに好きな遊びをさせる。そこには必ず危険が伴い、ケガもするだろう。すべてを保護者に説明し、理解を得て、自由に使わせている。常に責任が問われ、訴訟があたりまえの社会で、このような運営をしているすばらしさを感じました。



緑野青空子ども広場ツリーガーデン(大和市)



このマークは、青少年に優しい環境を願ってヨコハマの青少年指導員が決めたものです。